

9 温泉街の衰退

航空機休航の影響で台湾滞在を延長し、その間温泉巡りをした。台湾を南北に縦断する中央山脈の麓に抱かれる蘆山温泉にも1泊した。海拔1300メートルと台湾でもっとも標高の高い所に位置する温泉街である。期待して行ったが温泉街そのものが衰退甚だしく、何とも侘しい温泉であった。

後で調べてみるとその昔「天下第一泉」と呼ばれ人気を集めたが、2008年に発生した水害で大きな被害を受け、温泉街の廃止と住民の移転が進められているとのこと。道理で寂れているはずである。

活気はないが温泉そのものは良い湯で従業員もとてもフレンドリィであった。今回のコロナ騒動で温泉街の荒廃が一層進むのであろう。



温泉街全景



この中で営業しているのは1軒のみ



バス停に表示されている営業店舗は歯抜けだらけ